



9月5日 消防団ボート取扱訓練 (臥竜公園 竜ヶ池)

さくら

さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

須坂市消防団広報紙

2020 11
(令和2年)

就任あいさつ



須坂市消防長
いづか としき
飯塚 俊樹

令和二年四月一日の人事異動により消防本部消防長を拝命いたしました飯塚俊樹です。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃、消防団員の皆様には、生業をお持ちの傍ら、有事の際には、献身的に迅速に消防活動にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

全国各地で多発する自然災害、当須坂市におきましても昨年発生した「令和元年東日本台風」災害において、甚大な被害が発生しました。

水防活動始め、救助・消火活動等に尽力し、被害軽減に努めていただきました消防団員の皆様の活動に対し、市民の皆様から厚い信頼を得たことであります。

消防本部・署、消防団が両輪のごとく一体となり、市の防災・減災力を高め、地域住民の安全・安心のため尽力するよう取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

これからの消防団



須坂市消防団副団長
せき のぶゆき
関 延之

本年一月より副団長を務めております、関延之です。

日頃は須坂市消防団の活動に対し、ご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

本年は新型コロナウイルスの流行によって今までに経験したことのない年となっております。消防団におきましてもその影響は大きく、須坂市消防技術大会や須高協会水防工法訓練といった各種行事や大規模な訓練のほとんどが中止となりました。

現状としましては、感染拡大防止のため、新しい生活様式を踏まえての各種会議、規模を縮小した少人数での訓練や器具点検を行っております。

台風シーズンが目前である現在、一日も早い新型コロナウイルスの感染防止をしっかりと考慮した訓練や災害対応に努めてまいります。

須坂市 火災発生状況

令和2年の火災
22件 (建物11件、その他11件) ※9月30日現在

令和2年度 全国統一防火標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



りんご等果樹の枯れ枝を燃やす際は、消防署への届け出が必要です。また、風向きや近くの可燃物にも留意してください。

消防団員 募集中

私たちと一緒に地域を守る活動をしてみませんか！
須坂市消防団・音楽隊では男性、女性問わず随時団員の募集をしております。お気軽にお問い合わせください！

お問い合わせ

須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

須坂市消防団管轄区域 第1分団 1部 穀町、上町 2部 坂田町、南原町 第2分団 1部 本上町、上中町、中町、常盤町 2部 屋部町、小山町、北原町 第3分団 1部 横町、東横町、立町 2部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町 3部 八幡町、境沢町 第4分団 1部 春木町、新町、太子町、相森町 2部 高橋町、大谷町、本郷町

写真で見る消防団活動 (4月～9月)



▲市内重要水防箇所現地調査
(5月22日 須坂市相之島水防倉庫)



▲排水機場の排水試験立ち会い
(6月10日 相之島排水機場)



▲水防訓練 ロープワーク
(8月23日 消防本部)



▲第6、第9分団 C1級可搬ポンプ更新
(8月23日 消防本部)



▲消防団ボート取扱訓練
(9月5日 臥竜公園 竜ヶ池)



▲消防団ボート取扱訓練
(9月5日 臥竜公園 竜ヶ池)



消防団員 家族の声



第3分団 山岸 昂太さんのご家族
山岸 叶真くん

地域との繋がりに感謝

消防団の皆様、日頃から地域の為に活動して頂きありがとうございます。

私の主人は現在第三分団二部で活動しています。主人と結婚するまで全く馴染みのない消防団でした。ポンプ操法の大会の時期になると早朝から練習し、その後仕事に出掛けるようになります。朝から夜まで大変だと心配していましたが、いつも練習の話をしてくれました。主人がポンプ操法の選手になり私も大会を見に行きました。ところが、そこにはいつもとは違う機敏に走っている主人がいて、あんな動きが出来るのだと驚きました。

また仕事面やプライベートにおいても消防団の皆様には大変お世話になっており感謝しております。

これからも地域の為に頑張ってください。



第7分団 長岡 秀一さんのご家族
長岡 由夏さん
芽依さん・厚希くん

地域を守る消防団

私の主人が消防団員になって、十六年がたちます。「明日消防あるから」「消防行ってくるね」と言われ、見送ることもありますし、技術大会には子どもたちを連れて見に行ったこともあります。正直消防団の活動がどんなものかよくわからずにいました。ですが、火災現場への出勤や昨年の台風時の救助活動の様子を主人から聞き、地域を守るためにとても重要な役割を果たしていることを感じ、子どもたちも「パパすごいね」と話すようになりました。仕事をしながらの消防団活動はとても大変だと思いますが、若い人たちにももっと興味を持って入団してもらえると良いです。

地域のために活動して下さる消防団の皆様、今後とも安全第一で頑張ってください。

分団放水訓練の様子



▲第一分団、第二分団 合同訓練



▲第三分団 放水訓練



▲第九分団 区との合同訓練



▲第十分団 放水訓練



消防団員の声



第8分団 2部
班長 仲俣 武

本業を持ちながらの活動

私は、須坂市の企業で勤務しながら消防団活動もさせてもらっています。私の勤めている会社は24時間稼働させている為交代制の勤務があり、夜勤や土曜日・日曜日にも出勤の時もあります。

そんな中消防団活動をしていくのは正直大変な時もあります。消防団員は私と同じように会社に勤めながら消防団活動をしている人がほとんどだと思います。団員の人それぞれの本業をしながら消防団活動をするには団員一人ひとりが消防団員としての自覚を持っていないければ活動の際人員が集まらずに活動出来ません。

人それぞれ仕事や事情があり出動出来ない時ももちろんありますが「他の人が行ってくれる。」という気持ちではなく「行けない人がいるかもしれない。」という気持ちでそれぞれの人思いやりを持って活動していけば本業で仕事をしながらでも消防団活動を続けていけると思います。



第10分団
分団部長 竹前 良彦

消防団に入団して思うこと

私は社会人2年目で消防団に地元の先輩に誘っていただき入団しました。12年が経とうとしています。消防団に入ってよかったと思っていることが2つあります。

1つ目は家族の安全です。消防団活動の一番の目的は市民の皆様の安全を守ることです。そして市民の皆様の安全を守っていくことは私達の大切な家族を守ることに繋がっています。

2つ目は地域での繋がりでです。消防団に入ったことで年齢の違う先輩や後輩との新しい交流が生まれました。業種の違う人の話も聞けるので、様々な刺激を受けることができます。

現在は通常の消防団活動ができにくい状況が続いています。今、私たちにできることは何か。本当に必要なことは何か。様々な事を考えさせられました。火災や災害で苦しむ人が少しでも減るように、一人でも多くの命が救えるようにこれからも一生懸命活動に努めていきたいと思っています。



音楽隊 定期演奏会



★無観客で開催 生中継します★

市民の皆さま、ご健康にお過ごしでしょうか。今年も定期演奏会の季節がやってきました！

今年はコロナの影響を受けていろいろと試行錯誤でしたが、消防団音楽隊一同、「こんなときだからこそ音楽で元気を届けよう！」という思いを胸に、演奏会の開催に向けて、感染症対策を講じながら訓練を続けてきました。

しかしながら、コロナウイルス感染は終息の気配を見せておらず、本当に残念ですが、皆さまにご来場いただいて定期演奏会を行うことは断念せざるを得ませんでした。

けれど、私たちがここまで一生懸命訓練してきた成果を、ぜひ皆さんにご覧いただきたく、メセナホールで無観客による演奏会を行い、株式会社Goolight様のご協力のもと、地上デジタル121（12）で生中継とインターネット生配信します！

ご家族皆さんお揃いで、テレビの前、パソコンやスマートフォンで「消防団音楽隊第36回定期演奏会」を、どうぞお楽しみください。

放映日時 11月8日（日）午後5時から
チャンネル 地上デジタル121（12）

またはGoolight（旧商号：須高ケーブルテレビ）のホームページ上の動画案内にアクセスするとパソコン・スマートフォンでも視聴できます



【演奏曲目】

ディズニー・ファンティリュージョン！
ザ・ドリフターズメドレー
大河ドラマ「麒麟がくる」メインテーマ
やってみよう などなど…
元気になる曲をお届けします！



訓練の様子

←消防署が使用できない期間、峰の原こもれびホールをお借りして訓練しました。
峰の原高原の皆さんありがとうございました！



消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜をとわず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

中村 公彦

編集後記

編集委員長

分団長会長 丸山 界人

三月から新型コロナウイルスが蔓延し始めて、消防団の活動も制限されてきました。しかし、今年の七月に九州地方を襲った豪雨被害など災害は待つてはくれません。その為、コロナ禍でも密を防ぐなどの感染予防対策を取りながら少しずつ訓練を再開してきました。

また、手探りの状態ではありますが、市民の皆様のご理解ご協力を頂きながら、できる活動から行っていききたいと思っています。

【編集委員】

- | | |
|--------|-------|
| 副団長 | 関延樹 |
| ラッパ長 | 湯本直樹 |
| 音楽隊長 | 徳武洋子 |
| 第1分団長 | 山岸製蓑幹 |
| 第2分団長 | 垂澤優樹 |
| 第3分団長 | 下田悟司 |
| 第4分団長 | 荒井悠希 |
| 第5分団長 | 丸山界人 |
| 第6分団長 | 黒岩洋敦 |
| 第7分団長 | 市川平 |
| 第8分団長 | 成山隆司 |
| 第9分団長 | 卯之原正幸 |
| 第10分団長 | 松之原正幸 |
| 第11分団長 | 小林昌介 |